

特定非営利活動法人分析産業人ネット

# 第 16 期活動報告

令和元年度

2019.4～2020.3

## 令和元年度の活動概要

### 全体の状況

事業開始から15年目となる2019年度は期中に平成から令和へと元号が変わり令和天皇が誕生しました。10月には消費税が8%から10%となり、景気の後退を懸念した矢先の12月に中国の武漢で新型コロナウイルス感染症によるパンデミックが発生しました。新年度に入るとこの感染症が世界的に拡がり、景気は大幅に落ち込みました。このあおりを受け、当法人においても、2月、3月に予定していた講習会とセミナーが中止に追い込まれ、展示予定であった東京ビッグサイトで3月に開催予定のCPHI展は延期となりました。しかし、4月から1月までの事業活動の業績は昨年を超えたために、令和元年度は前年度を上回る活動実績を達成することが出来ました。

### 事業活動の概要

人材育成事業では、講習会・通信講座事業においては、今までの方針を改めて範囲を絞ったテーマの講習会を企画することに取り組み、通信講座ではテキストの改訂を進めました。資格認定事業では検査分析士初級資格について試験によらない認定方法を導入しました。振興普及事業においては、ビジネス支援事業で、展示会のブースで説明を行う会員ボランティアにかわり学生アルバイトの活用を図りました。通信販売事業では受注の中で多くを占めていたラボ用消耗品と共に今年度は当法人製のパームトップ光度計シリーズがアナログ吸光光度計を中心にして受注を伸ばしました。

### 社会貢献活動の概要

社会貢献事業は、昨年に引き続き、日本で機器分析に関するナーチャー賞エッセイコンテストの開催、タイ国の泰日工業大学の学生への奨学金の提供と日本語スピーチコンテストの支援と日本語教育を行う先生用の図書のご贈呈を行い、マレーシア日本国際工学院に対する日本語スピーチコンテストの支援を実施しました。

## 今期のトピックス

### 検査分析士商標登録の期間更新を申請(4月)

検査分析士の商標登録は指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分第41類「資格認定試験の実施、資格認定試験対策講座の実施、テキストの制作、技芸、スポーツ又は知識の教授、セミナーの企画・運営又は開催、書籍の制作」という内容で2009年4月24日に認められました。商標権の権利は10年と定められているので、存続期間更新登録の申請を行いました。



### 名城大学と連携し、課程修了による検査分析士初級資格の付与を開始(5月)

名古屋市にある名城大学農学部で、機器分析に関する所定の講座を受講して単位を取得した学生に対して検査分析士初級資格を授与する契約を交わしました。このために初級資格取得を希望する学生に対しては初級資格試験テキストを購入して戴き、担当の先生には初級試験問題を開示しました。

名城大学：名城大学は、1949年に設立された愛知県名古屋市にキャンパスをもつ私立大学です。9学部11学科をもち中部圏で随一の規模を誇る、文理融合型の総合大学です。2014年赤坂勇教授がノーベル物理学賞を、2019年に吉野彰教授がノーベル化学賞を受賞しました。農学部がある私立大学は少ないので名城大学農学部には中部地方の各地から学生が集まり卒業後は食品産業で働きたい希望を持つ学生が多いと言われています。

### アナログ吸光光度計の販売をケニス株式会社に委託(3月)

9月に開催されたJASIS展に出展したアナログ吸光光度計についてケニス社から委託販売の可能性を打診されました。当法人からの供給体制等について検討を行い、3月に販売を委託することで合意しました。尚、アナログ吸光光度計はケニス社の2020年度発行のカタログに掲載されます。

ケニス株式会社は1947年(昭和22年)5月、広島市大手町に設立された理科教材の企画・販売を行った科学共栄社を前身として2001年(平成13年)4月、現在のケニス株式会社に社名を変更した。教育用理科教材や研究用理化学機器の企画・製造・販売を手掛ける理科メーカー・専門商社で年商は約35億円である。

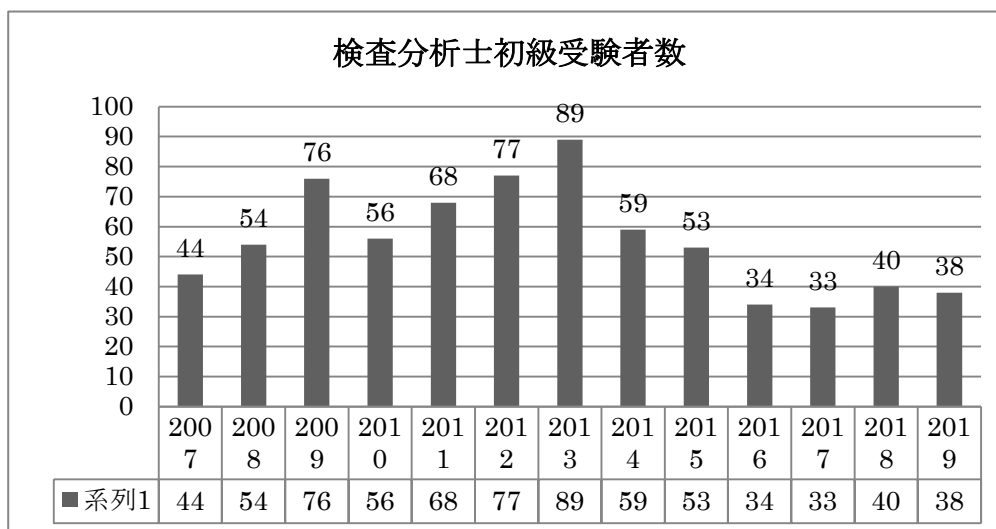
## 事業報告

### I. 人材育成事業

人材育成事業の活動は当法人のビジョン「分析技術を担う、世界に通用する人材の育成」を目指して実施しています。

#### 1. 資格認定事業

検査分析士と検査分析士マーケティングエキスパートの初級と上級の一斉試験は2019年7月27日（土）の午後、前年に引き続き東京、名古屋、大阪、仙台、福岡の5都市で行いました。受験者は初級38名、上級4名で、検査分析マーケティングエキスパートの受験者は1名でした。また、初級団体試験の受験者は14名でした。今年から名城大学と連携して検査分析士初級資格の大学課程修了者に対する資格付与を開始しました。合格者の継続的な学習を支援する検査分析士会の活動は今年も春と秋に東京と大阪で研修会を開催しました。



#### 2. トリニティースクール事業（講習会・通信教育事業）

少人数で開催する当法人の講習会について、その特徴が生かして講習目的を明快にわかるように一部のテーマ名を変えて実施しました。また通信講座についてはテキストの見直しを講師に依頼しました。今年も通信講座の多くは検査分析士資格試験支援講座の受講者でした。毎年 JASIS 展に合わせて幕張メッセの国際会議場で開催するマーケットトレンドセミナーは「マイクロフルイデイクスの実用化」をテーマに掲げて、第一線で活躍する5名の研究者が講演を行いました。

## II. 振興普及事業

振興普及事業の活動は当法人のビジョン「社会基盤となる分析技術に関する技術の普及」を目指して実施しています。

### 1. ビジネス支援事業

今年度の展示会への出展は9月に開催された分析機器の展示会 JASIS 展と3月に米国のシカゴで開催された Pittcon2020 でした。当初予定していた3月に開催予定の CPhI 展は、新型コロナウイルス感染症による自粛のため延期となりました。両展示会の出展共、ブース展示はアナログ吸光光度計を中心とした展示を行いました。JASIS 展では2ブースを使って資格試験等の活動の紹介と北海道大学のベンチャー企業の展示代行、Pittcon 展の展示では2社の展示代行も行いました。Pittcon では毎年恒例となった演者8名で半日のセミナーを開催しましたが、日本からの参加者を対象にするランチョンセミナーは新型コロナウイルス感染症への対応で渡米を中止した企業が多く取りやめとしました。

### 2. ネットバザール事業（通信販売事業）

蛍光 X 線分析で使用するプラスチックのフィルムと共にアナログ吸光光度計の受注が増加し、売上は前年比10%を超えて伸びました。今年度は受注から商品発送までに費やす時間を3日以内に出来る体制を整えました。このために一定の在庫の確保に努めました。

### 3. コンテンツ制作事業（出版及び動画制作）

2020年に出版する予定「機器分析の創業者達」の第2版に追加する第1版終了後に Pittcon hall of Fame の受賞者10名と日本人の創業者8名の記事の作成を行いました。

### 4. 簡易機器事業

今年度は昨年試作した量産型のアナログ吸光光度計を製造しネットバザールで販売をしました。前年度に比べて2倍以上の売り上げがあり、光度計組立キットも受注を伸ばしました。このため、光度計の製造を委託可能な企業を検討しています。また、販売について、来年度（2021年度）より大学や学校への販路があるケニス株式会社で委託販売を行うことにしました。



### Ⅲ. 社会貢献事業

日本では「社会基盤となる分析技術に関する技術の普及」のビジョンにそって、タイ国では「分析産業人ネットの慈善活動」で掲げたビジョンに基づいて活動を展開しています。

#### 1. ナーチャー賞エッセイコンテストの開催

今年度で11年目となる機器分析に関するエッセイを対象とするナーチャー賞エッセイコンテストは9月に募集開始、11月26日締め切りで実施し、今年度の応募件数は11件でした。12月の選考委員会の結果、大賞1名、優秀賞2名、特別賞1名、ノウィ・ホミネス賞2名、検査分析士会奨励賞1名の受賞を決定しました。表彰式は、1月の新年交流会の会場で行いました。

#### 2. タイの泰日工業大学の日本語スピーチコンテスト

前年度に引き続き9月に3年生を対象とするコント形式のプレゼンコンテストを、2月に日本語の履修時間が多いビジネスコースの学生を対象としたスピーチ形式のコンテストが行なわれました。2月のスピーチコンテストは、日本語検定でN3以下とN2以上の2つのカテゴリーでコンテストが開催されました。

#### 3. タイの泰日工業大学学生への奨学金提供

この奨学金は生活支援資金として今年は、泰日工業大学の2年生、3年生、各2名と4年生3名の計7名の学生に一人3万バーツを支給しました。今年度も6月にPAI-NETの奨学金を授与された卒業生と現在授与されている学生をあつめてPAI-NET主催の会合を開催しました。

#### 4. タイの泰日工業大学の日本語科への図書寄贈

泰日工業大学の学生が日本語を履修するために教材を作りますが、資料となる日本語教育のための参考書は日本で発行されており、タイでの入手が困難です。このため先生方のリクエストにより教材作成に参考となる日本語学習の参考書を日本で調達して寄贈しています。

**にほんご**  
**SPEECH CONTEST**  
**19th December 2019**

MJIIT 4th Japanese Language Speech Contest  
Make a speech on the theme  
「わたしの「おもしろい」」(Thing/Matter that is interesting to me) within 4 minutes.

**Awards**  
1st Certificate & RM 800  
2nd Certificate & RM 500  
3rd Certificate & RM 200  
4th Certificate & RM 100  
5th Certificate & RM 100  
Prize sponsored by Professionals' Net Work in Advanced Instrumentation Society

**Registration**  
Registration form: <http://forms.gio/G2HMS14u0b0760>  
Closing date for registration: **25th October 2019** before 5 p.m.  
Closing date for manuscript: **29th November 2019** before 5 p.m.

For further information please visit the Contest Website:  
[http://www.mjiit.ac.th/department/academic/department\\_of\\_japanese\\_language/](http://www.mjiit.ac.th/department/academic/department_of_japanese_language/)  
Any enquiries, refer to Mr. Manop or Mrs. Rungsaree at least 15 days before.

MJIIT Japanese Language and Cultural Unit

#### 5. マレーシア日本国際工学院 (MJIIT) での日本語スピーチコンテスト

前年度に引き続きでマレーシア日本語国際工学院で行われた日本語、日本文化コンテストの中で第4回日本語スピーチコンテストが行われました。ことしのスピーチコンテストのテーマは「私の「おもしろい」」で昨年同様日本での滞在期間が6カ月以内のMJIITの大学院生と大学生12名がコンテストに出場しました。

## IV. 法人の運営状況

運営に関する業務は暦通りに平日、東京都千代田区の事務所で行いました。

### 1. 組織

当法人の運営は理事会で経営方針、経営計画等を審議しますが、各事業の具体的な活動方針は理事と正会員に外部の委員も加えた人材育成委員会、資格推進委員会、教材企画委員会、等の委員会で審議し決定します。また当法人の具体的な実務は、理事会等で決められた方針、計画に基づいて事務局で行います。今年度は財政事情もあり、昨年度欠員となった常勤職員の採用は見合わせたため、正会員によるボランティア活動と不足する実務はアルバイトにより実施しました。また正会員だけでは対応できない一部の講習会・セミナーの講師等については必要に応じて外部に委託をしました。

### 2. 財務

当法人は会員からの会費収入と、当法人が行う事業の収入により持続出来ることを目標にしていますが、活動に必要な資金は事業収入だけでは不足するために会員の寄付により補充をしています。このような状況から、今年度は職員の採用を控える等、支出の削減をおこないました。今年度はPittconを運営する組織から寄付を受けました。

### 3. 投資

主にホームページ更新のために投資をしました。分析産業人ネットのホームページは新項目の追加、検査分析士会のホームページはCMSを導入して一新を図ることにし、必要な作業を外部に委託しました。尚、このホームページの更新には掲載内容の更新作業を含むため、完了は来年度第1四半期の予定です。

### 4. 広報

営業機能が脆弱な当法人は提供するサービスに関する広報・販促活動の主要な部分をインターネットと会報発行等による紙ベースの情報発信の組み合わせでおこなっています。紙ベースの広報では会員向けの会報誌「NURTURE」と、検査分析士会会員向けの会報誌「SHUHARI」を季刊で発行して当法人と関わりがある学識経験者や経営者、技術者等を含め約200部を配布しています。既に発足後15年が経過し、一定の知名度を得たと判断し、昨年までの当法人の設立の意図や活動内容の紹介中心の広報から、今年度はホームページを更新して当法人の行うサービスや必要な募集等を容易にインターネット経由で出来るように準備を進めました。

特定非営利活動法人分析産業人ネット

英文名 Professionals' Net Work in Advanced Instrumentation Society

設立 2004年11月24日

事務所所在地 〒101-0063

東京都千代田区神田淡路町2-6 淡路ビル4F

電話 03-5294-3115 FAX 03-5294-3344 E-mail [info@pai-net.or.jp](mailto:info@pai-net.or.jp)